

平成27年12月21日

シーパル須磨ESCO事業提案審査の講評

シーパル須磨ESCO事業の提案審査について講評いたします。

神戸市では「神戸市地球温暖化防止地域推進計画」に基づき、事務・事業に係る温室効果ガスの削減を推進しています。その目標の実現に向け、行政の率先行動の一つとして、ESCO事業などによる施設の省エネルギー化推進に向けた取組みを進めています。

シーパル須磨は、1995年の竣工から20年が経過し、設備の経年劣化、特に空調熱源設備や中央監視装置の更新が課題となっており、ESCO事業を導入することによって、民間のノウハウ・資金・経営能力及び技術的能力を活用し、省エネルギー化と主要機器の更新を図ることとしました。

その結果、参加表明をいただいた2グループのうち1グループから、技術力・ノウハウを存分に活かし、省エネルギー化への可能性を細部にわたり追求された省エネルギー効果の高い提案をいただきました。

提案審査は、事前に公表している審査要領に基づいて各審査員が評価を行い、アズビル株式会社 芙蓉総合リース株式会社の提案を最優秀提案としました。

最優秀提案となったアズビル株式会社 芙蓉総合リース株式会社の提案は、コージェネレーションと排熱回収形ガス吸収式冷温水発生機を組み合わせることによる空調熱源の高効率化をはじめ、運用の効率化による省エネルギー提案を複数組み合わせることによって、公募条件を大きく上回る、27.1%という非常に高い省エネルギー率を確保されています。また、補助金が受けられた場合には中央監視装置の更新を行うなど、市が期待する内容を含む秀逸な提案と評価いたしました。

最後に、多大なるご労力をおかけし、貴重なご提案をいただいた応募者の皆様に、審査員を代表して心よりお礼申し上げます。

シーパル須磨ESCO事業提案審査会
会長 森山正和